



“観音山は感動山、そして成長山でした！”

静岡県立観音山少年自然の家 所長 井浪 秀一

観音山のプレイホールには、利用者の方々から届いたたくさんのメッセージが飾られています。「クラスのみんなで時間を守ろうと声をかけあうようになりました。」「授業では、勇気を出して発表するようになりました。」「家のお手伝いを進んでやっています。」など、観音山での経験がその後の生活のエネルギーとなっています。ファミリー向けの主催事業では、保護者が子供のころ利用した観音山での感動が忘れられず、「(夢だった)子供と一緒に訪問しました。」という笑顔の報告が幾度もありました。年齢を問わず、自然体験活動の中で生まれた数々の感動や素敵な出会いが脈々とつながっていることに、改めて観音山の所員として大きな喜びと責務を感じています。

1973年(昭和48年)に開所した観音山少年自然の家は、本年度50周年を迎えました。この間の来所者数は、延べ2,076,231人、利用団体数は9,305を数え、全国に先駆けて建設された社会教育施設としての長い歴史を感じます。本所の書架に保管されているアルバムの中に、昭和53年当時小学5年生だった私の写真を見つけました。当時のM所員の話、皆笑顔で聞いていました。中には拍手をしている友人も写っています。その瞬間、一気に懐かしい仲間との観音山の思い出がよみがえりました。

開所以来「自然回帰」「自然の中での感動体験」を軸として、不便な自然の中だからこそ体験できる手間暇や苦労、仲間と共に困難を乗り越えてこそ味わうことができる感動体験を大切にしてきました。麓でバスを降り、大きな荷物を背負いながら上がってくる子供たちを観音山の自然と共に迎え、夢の坂を下る後ろ姿に向かって、姿が見えなくなるまで「さようなら」「元気でね」と見送り続けて半世紀。少子高齢化や生活体験の不足など、取り巻く社会環境は大きく変化していますが、自然と共にある利用者たちの輝く笑顔は変わりません。所員一同、これからも人の成長を応援する観音山で、皆様の御利用を心からお待ちしております。

静岡県立観音山少年自然の家

〒431-2201 静岡県浜松市浜名区引佐町東久留女木字観音山

TEL(053)545-0111 FAX(053)545-0363

URL:<https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/shogaigakushu/kannyonama/index.html>

主催イベントの様子

冒険王国 in 観音山 合わせよう みんなのパワー！

令和5年8月8日(火)～12日(土)



「合わせよう みんなのパワー！ ～知恵・挑戦・根気～」をテーマに4泊5日で実施しました。普段は経験できない自然の中での活動や多くの人との関わりを通して、子供たちは多くのことを学び、短期間のうちに大きく成長することができました。

アドベンチャーキャンプ 観音探検隊の大冒険！

令和5年11月25日(土)～26日(日)



忘れ去られた秘宝を探すことを目的に、3つの冒険に挑戦しました。すべてのミッションをクリアし3つの秘宝がそろったときには、子供たちの充実感あふれる笑顔がたくさん見られました。

もいもいキャンプ よさを感じよう！～しぜんともだちじぶん～

令和6年2月24日(土)～25日(日)・3月2日(土)～3日(日)



小学校1～3年生を対象に1泊2日のキャンプを行いました。3つの活動を通して参加した子供たちの仲も深まり、自然や友達、自分のよさを十分に感じる事ができる2日間となりました。

ファミリーイベントの様子



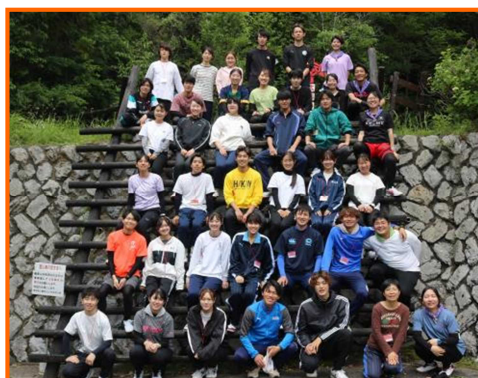
「ファミリーデー」や「わくわくホリデー」では、草木染めのハンカチや門松作りなど、自然物を用いた物作りを行いました。また、昼食で流しうどんをしたり、オリジナルの五平餅を焼いて食べたりといった、普段はあまりできない体験を通して、家族みんなで楽しい時間を過ごしていただきました。



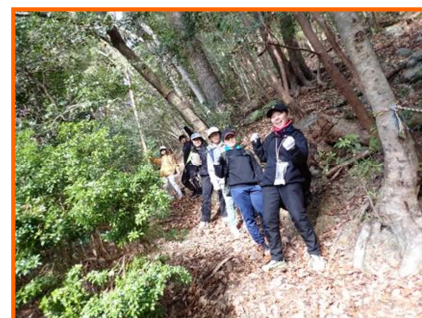
「観音山ハイキング」や「ぷらっと観音」では、普段からよく使っている山頂コースや星の広場コース以外にも、観音山で最も険しい赤松とうげに挑戦するコースや、久留女木の棚田を見学するコースなど、様々なコースを設けて実施しました。また、「夜間ハイキング」の後には、星のソムリエによる星空観察も行われました。

リーダー育成研修会の様子

リーダースクールin観音山



アウトドア教室



「リーダースクールin 観音山」には、多くの大学生が参加しました。子供たちと一緒に活動する中で成長していく姿を頼もしく感じました。「アウトドア教室」では、中高生が指導者として必要な野外活動の知識や技能について学びました。学んだことを地域や学校で生かして活躍することを願っています。

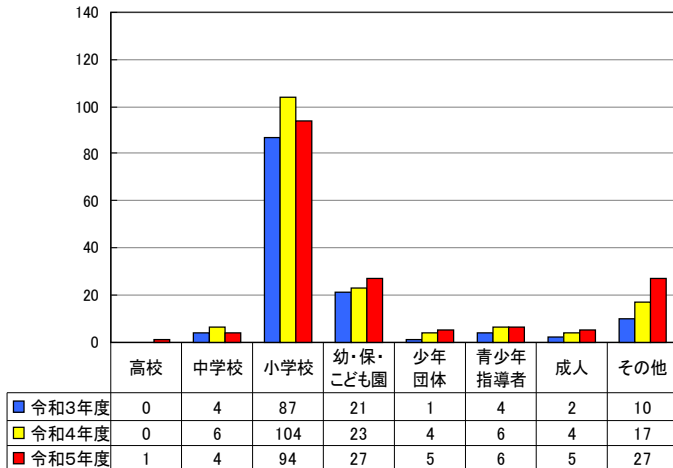
令和5年度の利用状況

静岡県立観音山少年自然の家

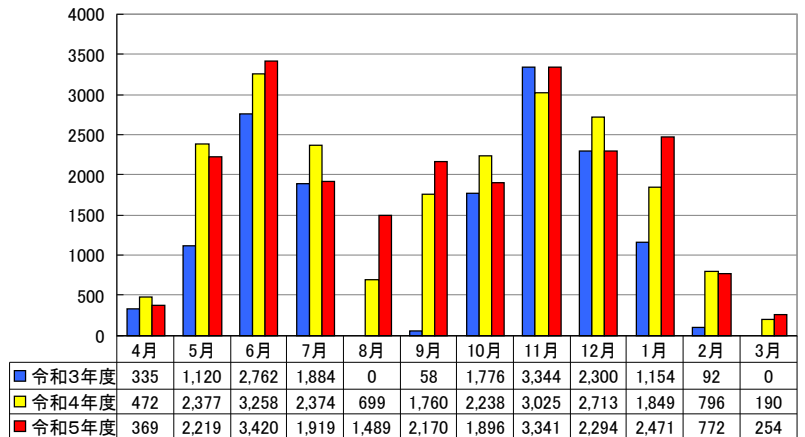
年間延利用者数

3年度 14,825人
4年度 21,751人
5年度 22,614人

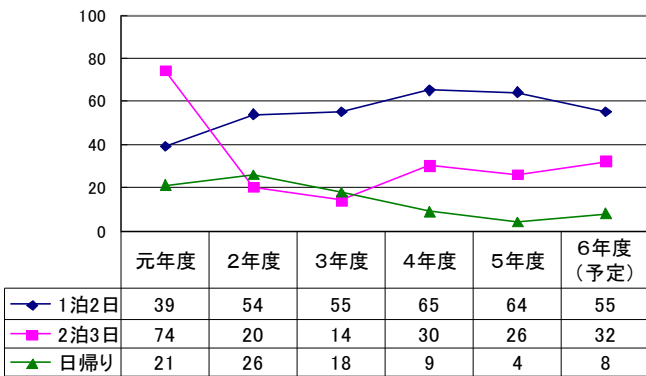
利用団体数



月別延利用者数



小学校の宿泊日数



令和5年度も、昨年度同様、年間を通してほぼ予定通りの活動を行うことができました。また、開所50周年を記念して主催イベントの数を増やしたことで、例年より多くのファミリーに利用していただきました。利用者数は目標としていた2万2千人を超え、2年連続で2万人以上の方々に御利用いただくことができました。

小学校については入所団体の約7割が1泊2日での利用となっていますが、6年度(予定)では、2泊3日で利用する学校が少し増えました。本所では、たっぴりと自然体験を行い、子供たちをたくましく成長させるために2泊3日での活動プログラムをお勧めします。

学校等の活動の様子

困難克服型プログラム



山頂登山

沢登り



冒険ラリーなど

集団協力型プログラム



キャンプファイヤー

OLビンゴ



キャンドルのつどい、コマ地図ラリーなど

○「困難克服型プログラム」「集団協力型プログラム」

観音山少年自然の家では、活動プログラムを「たくさん歩いて、粘り強く困難を克服するプログラム」(困難克服型)と「集団(グループ)で協力して、話し合いながら課題を解決するプログラム」(集団協力型)に分類しています。これは各入所団体のめあてや子供たちの実態に沿ったプログラムを提案することを目的としています。今後のプログラム決定の際の参考にしてください。